

運動会の開会式

前原 寛

秋は運動会の季節です。九月から十月にかけて多くの保育園や幼稚園で運動会が行われていることと思います。私自身、他園の運動会に招待されることもあります。そのような時、開会式でのあいさつが多いなどが、長いなどか感じることがあります。

私は保育園の園長をしていたころ、運動会の開会式であいさつをしたことはありません。これから運動会が始まるぞ、と気持ちを高揚させている子どもたちに話しても、届くとは思われないからです。

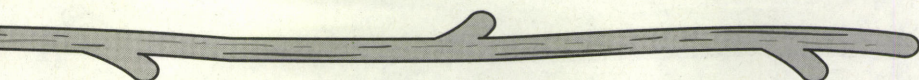
開会式で大人があいさつしていると、子どもたちがつまらなそうにしている様子が見られることがあります。実際、ある園で園長先生の話がいつまで続くのかと思われるぐらい長く、子どもだけでなく参加していた保護者まで含めてげんなりしてしまったこともあります。

保育園の運動会は子どもたちのものです。そう考えているので、私のかかわっている保育園では、開会式で始まりの言葉を、五歳児を中心に子どもたちが発声します。園長や保護者、来賓のあいさつはありません。

また当園では、開会式の際に、一般的な入場行進もしません。入場門の外に整列し、そこから行進してグラウンドを一周するようなり方をしていないということです。四、五歳児ならばともかく、一歳児や一歳児の中には、入場行進そのものを嫌がる子もいます。当園の運動会は園庭で実施しますが、三歳児であっても、いつもの保育園と全く違う雰囲気にもまれてしまつて泣き出してしまつ子もいます。そんな子はともに入場行進をすることでありません。

ある年のことです。運動会を数日後に控えたある日、三歳児が私に向かって、「運動会におじいちゃんもおばちゃんも来るんだ」とうれしげに話してくれました。それを聞いてはっと気づきました。その子の言い方には、運動会には自分の家族や親戚だけが来る、というニュアンスが感じられたからです。

運動会にはたくさんの方が来られます。一人の園児に十数人の家族・親族が来ることもあります。70人の園児ですと、数百人以上の大人が来ていることになります。運動会を行う園庭は、広くありません。見に来ている人たちは、大げさでなく園庭からはみ出すようにしています。普段は子どもしかいない保育園に大人がぎゅう詰めになっているのですから、雰囲気もまるつきり違ってし



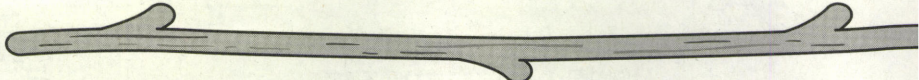
まいます。万国旗などの飾りもありますから、子どもにとっては異様な雰囲気
に思えるでしょう。

先の三歳児の発言のように、小さな子どもたちは自分の家族・親戚だけが見
に来てくれるようなイメージをもっています。家庭で、「今度運動会に行くか
らね」と話しかけられる言葉は、子どもにはそう理解されているでしょう。

ところが当口になると、見知らぬ大人が園庭にぎっしり詰まっいて、自分の
家族はちょっと見渡しても気づかないような状態になってしまいます。四、五歳
児であれば、それまでの経験も踏まえて、そのような場での振る舞い方を身に
つけています。しかし、一、二歳児にそれを期待するのは無理です。中には、は
しゃぎ回ってところかまわず走りまわるような子もいますが、むしろ圧倒されて
しまい、泣き出したり、おじけづいたりする子どものほうが普通です。

そんな状態の子どもたちを整列させ、入場させようとしても難しいもので
す。そこで当園では、入場行進をせず、最初から園庭の真ん中に子どもたちが
集合します。家族の場所からグラウンドの中に移動をするだけです。乳児は保
護者が抱っこして参加します。

これから入場行進をする、と身構えるのではなく、いつもと全く違う雰囲気
の園庭に身をなじませるように、ゆったりと子どもたちが集まってきます。全
員が集まったら、そのまま一曲行進して開会式を始めます。歩くことによっ



て、子どもなりに緊張していた心と体をほぐしていきます。ほぐれていくに従って運動会へ向けての気持ちが高まっていき、始まりの言葉を自分たちで宣言することによって、さらに場を盛り上げていきます。そんなところに大人のあいさつは場違いです。ですから、当園では大人のあいさつがないのです。

かといって園長がひと言もあいさつしないというのは失礼ではないか、と思われるかもしれませんが。それも一理あります。保護者や来賓の方が大勢集まっているのに、園長が黙ったまま座っているだけでは、失礼と思われるも仕方ありません。そのことを考慮して、園長のあいさつは、開会式ではなく、その数分前、子どもたちが三々五々集まってくる時間帯を見計らって行います。ワイヤレスのハンドマイクを使い、あいさつと形式張らず、話しかけるような口調で、子どもが集まった方々へ向けて語りかけます。グラウンドを囲んで保護者は座っていますから、全方向に向きながら語ることを忘れないように心がけています。また、来賓には、すべての競技が終わった後の閉会式で、子どもたちへのねぎらいの言葉と万歳三唱の発声をお願いしています。当園ではこのようなやり方をしていきますが、開会式で大人のあいさつがないことについて、特に問題が生じたことはありません。

運動会は子どもが主役、そのためのちよっとした工夫をしている開会式です。

(鹿兒島国際大学准教授・元安良保育園園長)